歴史と伝説に彩られた国境の町に親鸞、弁慶、忠敬、芭蕉の足音がこだまする

泊（とまり）まち歩きMAP

泊町は親不知の難所と境関所をひかえ
しかも、上街道と下街道の合流点だったので
宿場町として発展しました

宝ものがひそむ
ヒスイ海岸
・タラ汁街道
・温泉地♨

日本海

芭蕉の句碑
「早稲の香や分け入る右は有磯海」
親不知子不知の難所を越えて越中に入った芭蕉が詠んだ句が刻まれています

親鸞聖人の杖欅
樹皮をはぐとこわらじ説法を行う親鸞聖人の姿を拝することができたといわれるケヤキで信仰の木と呼ばれています

身がわり地蔵

海浜公園
海岸沿いに遊歩道や多目的広場があり、潮騒を聞きながらのんびり散策しよう

木流川
昔、上流の山麓から流木輸送が行われ、それが川の名となりました。下流の河岸には、加賀藩のお米蔵も並んでいました

弁慶の足跡
脇子八幡宮にある伝説の石。その昔弁慶が黒部の山からひとまたぎしたとき、足跡とこの石を踏んだとされています

腰かけ石
承元元（二〇七）年の三月、親鸞聖人が越後へ向かう途中でこの石に腰掛けられたとされています

朝日大手毬
大輪の八重咲き椿は二百才

室町街道
木曾義仲が平家追討のため京にのぼった時に通った道

脇子八幡宮
木曾義仲や上杉謙信らが武運を祈願したとされています

塩工場跡清水

大屋の浜
舟で直江津へ渡り信越線で東京へ行くための連絡船の発着場として賑わっていました

東草野

清水川

そば処
草の子

喫茶こみち
美術館隣接

朝日町立
ふるさと美術館

深松組

あさひ
総合病院

宮本町

泊町が現在地に移転した時、
下町・中町に寺院を集め
門前に月6日の市を設けて
町の発展を図ろうとしました

商店街食べ歩き！
大むら菓子舗「ヒスイ羊かん」
木村豆菓子店「ラジュウム豆」
菓子処みずしま「チーズケーキ」

なつかしの
新田駄菓子屋

町指定
妙輪寺のさるすべり

宿場町の街並

常光寺（浄土真宗）

松林寺（曹洞宗）

妙輪寺（日蓮宗）

伊能忠敬宿泊地

馬場はる生地

五叉路クロスファイブ

朝日町観光協会
明治記念公園内のからかん樹は三百才

清水町

「まめなけ市場」
朝日のいいもの勢揃い
※毎月第3火曜日
10：30〜12:00
マルシェ開催☆

行在所（あんざいしょ）

御膳水井戸
明治天皇の行在中の食事等に使用する御膳水として使用されました

しだれ桜
もうすぐ五十才

指物師
寺田洋子さん
の工房
「カッセッタ」

昭和の雰囲気
ハーブと喫茶
HYGGE（ヒュッゲ）

朝日町図書館

さみさと小

佐味神社

おもかげゾーン

横尾西

横尾トンネル

小川温泉天望閣

ふるさと
移住交流体験施設
さゝ郷
ほたる交流館

温泉町

伊東家・駒峰庵（茶室）
茶室から駒ケ岳が望めたところから駒峰庵と名付けられました

新笹川トンネル

若草町

大安寺 香月窩（茶室）

大西家・欅の大戸
家の出入口として、大切なところを「大戸口」といい、そこには「大戸」という板戸をとりつけました

十村役 伊東彦四郎の墓

神田町は昔からの
料亭や置屋・検番などが
軒を連ねる芸妓の町です
明治時代「泊貸座敷免許地」という
県の指定を受けたので
「免許地」とも呼ばれて
いました

農協会館
Aコープ

消防本部

舟川べり
「春の四重奏」
・チューリップ
菜の花、桜、
朝日岳の奇跡の
コラボ☆

スタジオ
＆ギャラリー
cafe ふかみ
宝塚出身女優
内田もも香さん

喫茶店
「我忘」

世界最高の
オーディオ
「音楽夢工房」

越中と越後の国境にあり、
旧北陸道の宿場町として栄えた
泊のまちを、
歴史の面影を訪ねながら
私たち**あさひガイドグループ**が
ご案内いたします

洋食屋
グリル松

長願寺の菩提樹

タブの木
戦国の世をみつめていた樹は七百才

至入善

SC.アスカ
アゼリア
ホール

ナチュラルスイーツ
ぽんぽん
泊駅店 OPEN！

あいの風とやま鉄道
泊駅（にゅうぜん みやざき）

泊駅
明治四十三年に泊〜魚津間に鉄道が開通し、新橋行きの岡蒸気が運転されました

給水塔
岡蒸気の給水に必要な水圧を得るために建てられました

伊東彦四郎の記念碑

朝日町役場

平柳

道下

泊トンネル

北陸自動車道

【馬場はる】1886（明治19）年〜1971（昭和46）年。下新川郡朝日町泊の小沢家に生まれ、富山市東岩瀬の海運業馬場家に嫁ぐ。若くして夫道久を失ったが、家業を守り、子どもを養育し、社会文化事業に貢献した。大正12年、旧制富山高等学校の設立費を寄付し、本県高等教育の振興に尽くした。

【伊能忠敬】江戸時代全国を歩いて測量し、初めて実測の日本地図「大日本沿海輿地全図」を作りました。朝日町では1803（享和3）年に測量しています。

【伊東家】伊東家は加賀藩の命により、代々、十村役をつとめていました。また八代 伊東彦四郎は「愛本新用水」を完成させました。

編集・発行 あさひガイドグループ
2004.4